



MOBCAST



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社モブキャスト 上場取引所 東
 コード番号 3664 URL <http://mobcast.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐武 利治 (TEL) 03-5414-6830
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,360	△17.0	△475	—	△499	—	△478	—
28年12月期第2四半期	1,639	△7.3	△51	—	△86	—	△199	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △483百万円(—%) 28年12月期第2四半期 △182百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△29.72	—
28年12月期第2四半期	△13.64	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,934	1,648	56.1
28年12月期	3,792	2,153	56.1

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 1,646百万円 28年12月期 2,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

当社グループ(当社及び連結子会社)が属する業界は、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期2Q	16,100,008株	28年12月期	16,095,008株
29年12月期2Q	ー株	28年12月期	ー株
29年12月期2Q	16,096,715株	28年12月期2Q	14,617,687株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、平成29年4月25日に株式会社モブキャスト・エンターテインメントを新たに設立し、連結の範囲に含めております。このため、第1四半期累計期間は連結財務諸表非作成会社でしたが、当第2四半期連結累計期間より連結財務諸表作成会社となりました。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnetで同日開示しております。また、当社は、平成29年8月10日 (木) に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

世界のゲーム市場規模は依然拡大を続けており、平成27年から平成31年にかけて6.6%成長する見込みであります。平成28年のその市場規模は約11兆6,034億円(9,960億ドル;平成28年12月末レートを参照し1ドル=116.5円として換算)であり、市場シェアは中国、日本を含むアジア太平洋地域が46.8%、アメリカ、カナダの北米地域が25.5%、ドイツ、イギリスを含む西ヨーロッパが17.4%を占めております。平成27年から平成28年の地域別の成長率については、北米は4.1%、西ヨーロッパは4.4%であるのに対し、アジア太平洋地域は10.7%であり、シェアの大きいアジア太平洋地域を中心に、ゲーム市場の拡大はこの先も続くものと見込まれます(平成28年Newzoo社調べ)。

このような事業環境の下、当社は新規ネイティブゲームの開発と既存タイトルの運営強化、海外事業の推進及びブラウザゲームの運営効率化に取り組みました。

新規ネイティブゲームの開発につきましては、「モバプロ2 レジェンド(旧称「Project LEGEND」)」を5月15日に予定どおり配信を開始し、また、「キングダム 乱-天下統一への道-(旧称「Project OK」)」及びProject LIP等につきましては、引き続き配信開始に向けて開発を継続しております。

また、既存ネイティブゲームタイトルの運営強化につきましては、「18 キミト ツナガル パズル」においては、売上の安定とゲームの活性化のためコスプレイヤー「えなこ」をはじめとするアニメIP、声優等とのコラボ施策を毎月実施しております。さらに、海外事業の推進につきましては、中国Capstone社と共同で開発を進めていた「モバサカ CHAMPIONS MANAGER(旧称「Project CMM」)」の中国での配信については、5月25日にiOS版、また、6月2日にAndroid版の配信を開始いたしました。ブラウザゲームの運営効率化につきましては、株式会社マイネットエンターテインメントとの共同運営体制による効率運営を継続しております。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間につきましては、「モバサカ CHAMPIONS MANAGER」の中国での売上に係るロイヤリティ売上の計上及び「モバプロ2 レジェンド」の配信開始に伴う新規タイトルの売上に計上したものの、主力であるブラウザゲーム市場の縮小に伴う売上高の減衰等の影響により売上高は1,360,806千円(前年同四半期比17.0%減少)となりました。その一方で、広告宣伝費及び人件費の抑制を中心とする販売管理費の削減を継続して実施したものの営業損失は475,681千円(前年同四半期は営業損失51,978千円)となりました。

さらに、営業外損益として「消費税差額」1,212千円、持分法適用会社の損益取り込みによる「持分法による投資損失」13,358千円等を計上した結果、経常損失は499,576千円(前年同四半期は経常損失86,134千円)となりました。また、四半期純損失は478,757千円(前年同四半期は四半期純損失199,507千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は478,371千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失199,507千円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間中の4月25日にIP及びエンターテインメントコンテンツ等に係る事業再生、事業活性化を目的とした連結子会社「株式会社モブキャスト・エンターテインメント」を設立したことにより、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より858,650千円減少し、2,934,193千円となりました。主な内訳は「現金及び預金」が1,117,403千円減少し、「前払費用」が195,822千円、「ソフトウェア仮勘定」が128,418千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より353,855千円減少し、1,285,893千円となりました。主な内訳は「長期借入金(1年内返済予定を含む)」が266,170千円、「1年内償還予定の社債」が50,100千円、「未払金」が71,903千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より504,794千円減少し、1,648,300千円となりました。主な内訳は「資本剰余金」が1,330,968千円減少し、「利益剰余金」が853,306千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する説明

平成29年12月期につきましては、引き続き新規ネイティブゲームタイトルの開発と運営強化、海外事業の推進、ブラウザゲームの運営効率化、及び連結子会社による再生案件検討等に取り組んでまいります。新規タイトルの開発につきましては、現在開発中の「キングダム 乱 -天下統一への道-」については平成29年第3四半期に配信開始を予定しており、さらに、平成29年度中に「Project LIP」の配信開始も予定しております。また、ネイティブゲームの運営強化につきましては、平成29年5月に配信を開始した「モバプロ2 レジェンド」の売上拡大に向けたプロモーション施策を実行していくとともに、既存の「18 キミト ツナガル パズル」につきましては引き続きコラボ施策を進め、アニメを始めとする様々なIP等とのコラボを実施してまいります。また、海外事業の推進につきましては、平成29年第2四半期連結会計期間より配信を開始した海外パートナー企業との共同開発タイトル「モバサカ CHAMPIONS MANAGER」の中国版に引き続き、平成29年第3四半期連結会計期間中に日本版の配信を予定しております。さらに、これまで構築してきた国内外のネットワークを基盤として、国内有力IPを用いた新規タイトルの共同開発契約締結を進めます。ブラウザゲームの運営効率化につきましては、株式会社マイネットエンターテインメントとの共同運営の深耕により更なる効率化を進めてまいります。また、連結子会社による事業再生案件の発掘及び収益化に向けたビジネススキーム検討等も実施してまいります。

以上を踏まえた当期の売上高及び利益予想に関しましては、当社グループが属する市場が事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式会社モブキャスト・エンターテインメントを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,455,755	1,338,352
売掛金	515,284	391,639
前払費用	106,205	302,028
その他	10,263	46,429
貸倒引当金	△43,865	△102
流動資産合計	3,043,642	2,078,346
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,505	36,505
減価償却累計額	△19,792	△21,338
建物(純額)	16,713	15,167
工具、器具及び備品	79,716	79,941
減価償却累計額	△54,127	△57,710
工具、器具及び備品(純額)	25,589	22,230
有形固定資産合計	42,302	37,398
無形固定資産		
ソフトウェア	215,975	176,983
ソフトウェア仮勘定	251,000	379,418
その他	2,908	6,099
無形固定資産合計	469,885	562,501
投資その他の資産		
投資有価証券	163,061	146,557
その他	80,251	115,689
貸倒引当金	△6,300	△6,300
投資その他の資産合計	237,013	255,946
固定資産合計	749,201	855,846
資産合計	3,792,844	2,934,193

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	283,338
1年内償還予定の社債	99,600	49,500
1年内返済予定の長期借入金	465,853	355,355
未払金	349,199	277,296
未払法人税等	8,739	4,640
その他	218,218	173,286
流動負債合計	1,341,611	1,143,416
固定負債		
長期借入金	298,138	142,466
繰延税金負債	—	10
固定負債合計	298,138	142,476
負債合計	1,639,749	1,285,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,749,057	1,749,767
資本剰余金	1,698,719	367,751
利益剰余金	△1,334,670	△481,363
株主資本合計	2,113,106	1,636,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△581	24
為替換算調整勘定	15,595	10,507
その他の包括利益累計額合計	15,013	10,531
新株予約権	24,975	—
非支配株主持分	—	1,613
純資産合計	2,153,095	1,648,300
負債純資産合計	3,792,844	2,934,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,639,766	1,360,806
売上原価	827,729	1,223,065
売上総利益	812,037	137,740
販売費及び一般管理費	864,016	613,422
営業損失(△)	△51,978	△475,681
営業外収益		
受取利息	228	39
投資事業組合運用益	38,332	—
還付加算金	1,185	—
消費税差額	—	1,212
撤退事業関連収益	30	601
その他	1,063	53
営業外収益合計	40,841	1,907
営業外費用		
支払利息	4,189	4,154
為替差損	69,100	5,715
株式交付費	92	86
持分法による投資損失	—	13,358
その他	1,613	2,487
営業外費用合計	74,996	25,802
経常損失(△)	△86,134	△499,576
特別利益		
新株予約権戻入益	—	24,975
特別利益合計	—	24,975
特別損失		
固定資産除却損	6,596	—
解決金	105,631	—
役員退職慰労金	—	3,000
特別損失合計	112,227	3,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,362	△477,601
法人税等	1,145	1,156
四半期純損失(△)	△199,507	△478,757
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△386
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△199,507	△478,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△199,507	△478,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,045	605
為替換算調整勘定	43,965	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△5,087
その他の包括利益合計	16,920	△4,481
四半期包括利益	△182,587	△483,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△182,587	△482,853
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△386

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,362	△477,601
減価償却費	96,530	204,037
固定資産除却損	6,596	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△43,763
受取利息及び受取配当金	△229	△39
支払利息	4,189	4,154
投資事業組合運用損益(△は益)	△38,332	774
持分法による投資損益(△は益)	—	13,358
新株予約権戻入益	—	△24,975
為替差損益(△は益)	44,920	△806
売上債権の増減額(△は増加)	257,111	123,645
前受金の増減額(△は減少)	△8,157	6,540
前払費用の増減額(△は増加)	7,938	△195,743
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△377,014	△73,782
未払又は未収消費税等の増減額	46,914	△71,179
解決金	105,631	—
その他	△31,686	△12,643
小計	△83,976	△548,024
利息及び配当金の受取額	62,264	39
利息の支払額	△5,512	△4,435
法人税等の支払額	△1,168	△2,265
法人税等の還付額	14,601	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,791	△554,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,190	△224
無形固定資産の取得による支出	△193,509	△295,927
投資有価証券の取得による支出	△120,455	△2,100
敷金及び保証金の差入による支出	△673	—
出資金の払込による支出	—	△35,672
その他	9,957	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,871	△333,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	83,338
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△581,980	△266,170
社債の償還による支出	△50,100	△50,100
株式の発行による収入	4,107	1,333
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,000
新株予約権の買取による支出	△4,750	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,722	△229,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,622	806
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△557,007	△1,117,403
現金及び現金同等物の期首残高	1,578,656	2,455,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,021,648	1,338,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当社は、平成29年3月24日付当社株主総会にて、平成29年3月31日を効力発生日として、資本準備金の額1,582,606千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振替え、会社法第452条の規定に基づき、資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金1,331,678千円を減少して繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が1,331,678千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、モバイルゲーム事業の他に、ソーシャルマーケティング事業、コンテンツ等の取得及び再生事業がありますが、モバイルゲーム事業以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。